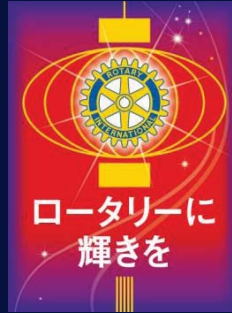


# WEEKLY NEWS

2014-2015年度 《39号》

## 週報 通算 2137回



第2640地区

### 和歌山東南

### ロータリークラブ

#### 本日の例会

5月20日(水)  
12:30~華月殿

- ・開会点鐘 坂口会長 ・ローターソング:四つのテスト、結婚記念日お祝い
- ・出席報告(例会委員会) ・会長挨拶 ・幹事報告 ・ニコニコ箱(寄付金)報告
- ・IDM発表④ ローター情報・規定委員会・閉会点鐘 坂口会長

先週例会報告 会場監督 赤在依美

ゲスト 紀三井寺 副住職 前田泰道様、ピジター 和歌山北RC 白杉武志様

#### 会長挨拶

坂口 和男会長

こんばんは。前田副住職様 後ほど卓話よろしくお願ひします。  
和歌山北ロータリークラブの白杉様、市内9クラブ I.M. のPR、よろしくお願ひします。  
当クラブ辻本圭三会員が旭日小綬章されました。辻本さん本当におめでとうございます。  
我々仲間としての誇りです。  
和歌山市軟式野球連盟学童部東支部へ4月26日(日)に乗用芝刈機の贈呈式に参加して  
きました。前回の芝刈機を長い間大事に使って頂き、又今回も大切に使用します。との  
上野支部長のお言葉でした。役員又父兄の皆様にも役立てて頂ければと思っています。  
上野支部長との約束でしたので、会員皆様の協力を頂き、寄贈させていただき、私も安心しました。  
参加者：津川・辻本・山口・山本(唯)・寺下・坂口会員



#### 幹事報告

谷口 拓幹事

- ① 地区より3件のお知らせが届いております。  
・5月ロータリーレート 5月は1\$=118円です。3月財団寄付報告書、ガバナー月信  
5月号を各テーブルに1部ずつ置いております。お目通しください。
- ② 和歌山県健康局 薬務課より「平成27年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に対する後援とご協力についての依頼が届いております。  
実施期間：6月20日~7月19日の1ヶ月間。「6・26ヤング街頭キャンペーン」は、  
原則6月27日(土)又は28日(日)とする。原則、保健所単位等で実施することし、  
実行委員会がヤングボランティアの協力を得て、啓発資材の配布等を行う。



#### ニコニコ箱

中岡隆文会計

和歌山北RC 白杉武志様・I.M.の多数のご参加 よろしくお願ひします。  
山口君・東南会欠席！  
南君・皆様 御無沙汰です。前田副住職様 本日はよろしくお願ひ申し上げます。  
ご本人お誕生日お祝い・神谷君、坂口君、山本(唯)君、谷口君。  
配偶者お誕生日お祝い・楠本君、中曾君、寺下君。  
ご結婚記念日お祝い・吉田君。



#### ロータリー財団

坂口君・前田副住職 よろしくお願ひします。  
津田君・台風でIDMの日時変更にて 迷惑かけました。

#### 出席報告

出席者 出席率

ニコニコ	米山記念 奨学会	ローター 財団	東南育 英会	45周年記念 BOX	紀南災害 義援BOX
累計 2,038,298	167,000	165,000	67,000	1,198,200	0

会員総数	50名	5/13	36名	73.47%
出席免除会員	3名	4/15	40名	80.00%

- 辻本君・東南会ゴルフコンペで優勝させて頂きました。
- 保田君・今晚は、例会久しぶりで、もうちょっとで忘れる所でした。
- 谷口君・前田様 本日の卓話よろしくお願ひします。
- 松浦君・前田副住職、今期第4回 卓話ありがとうございます。楽しかったです。
- 土屋君・皆様 ごぶさたしています。
- 西口君・台風も無事に過ぎて、今日は良いお天気になりました。



## 「IM第3組 PR」 和歌山北RC IM実行委員会 幹事 白杉武志様



本日は、貴重なお時間を拝借し、5月23日（土）アバローム紀の国にて開催のインターシティーミーティング参加へのお願いに参りました。

テーマは「今こそ親睦を！」です。最初に和歌山大学教授：足立基浩先生による、将来の和歌山経済をテーマに講演を行って頂いた後、市内9クラブが実践している親睦や、親睦活動の発表をして頂く予定でございます。Fellowshipは、ロータリーの引力です。最近聞かれなくなってしまった「ロータリーの友情」を取り戻せるI.M.にしていきたいと思う次第です。

どうか多数の御参加をお待ちしておりますのでよろしくお願い申し上げます。本日は、有難うございました。

## 外部卓話「わが心と相談しながら生きる」紀三井寺 副住職 前田泰道様



3年前一念発起して、ダイエットに成功しました。数々の失敗を経たどりついた「お腹と相談ダイエット」です。お腹、つまり自分の心と相談しながら食事を進めると、食欲の暴走を食い止められます。

この「わが心と相談する」ということが、実は仏教の特徴だと考えます。私は僧侶となって以来ずっと「仏教とは何か」を考えて来ました。

「仏教とは何か？」同じ質問を發した人の逸話が残っています。中国の大詩人・白樂天（白居易）が鳥窠道林というお坊さんに發した質問です。お坊さんは、「悪いことをしない。善いことする。自分の心を清らかにする。それが仏教だ」と答えます。お釈迦様が実際にされた説法をそのまま伝えたのです。白樂天は笑いますが、私は、この第3句目が最も肝要と考えます。自分の心を清らかに出来ているかで、自らの行動の

善悪を判断し、軌道修正していく、それが仏教なのだ、この詩句は教えている様です。

お釈迦様の生きておられた当時、シュローナという弟子がいました。

彼は裕福な家庭の出身でしたが、憧れてお釈迦様の弟子になりました。ですが、あまりの環境の違いに耐えられず、修行を断念しようとしたシュローナにお釈迦様は、「琴の弦は張りすぎても緩めすぎても良い音は鳴らない。怠惰に流れることも、厳しすぎる修行もどちらも間違いだ。自分という琴がどんな音を奏でているか、心の耳を澄ましなさい」と諭します。

この教えは「中道」という教えです。両極端を離れて「ほどほど」にしなさい、という意味ですが、この「ほどほど」ほど難しいものはない。それをお釈迦様は、心の琴の音色を聞いたら判る、と絶妙に教えたのです。

私達人間の心は、ころころ変わるから「ころこ」といわれる程頼りないもので、世の中の悪行も四苦八苦も、全ては心の成せる業ですが、真剣に自分の心と対話すれば、必ず良き方へ導かれる、仏教の根底には、そんな確信、人の心への信頼があるように思えます。外に神仏を求めず、わが心の中にこそ生きる指針がある。それを座禅で極め、念仏や題目で呼び覚まし、巡礼や写経でわがものとして行くのが仏教だと考えています。

わが心を整え、清めた者こそ人生の勝利者になれるのです。

